

## 式 辞

卒業生の皆さん、卒業おめでとう。今年は昨年までとは異なり、卒業生の皆さん一人一人に卒業証書を手渡しました。皆さんの顔を間近で見ながら卒業証書を渡すことができ、今、とても幸せな気分です。

さて、皆さんの卒業にあたり、三つのこととお話したいと思います。

最初の二つは今までの機会にも言ってきたことです。まずは、自分に自信を持ってほしいということです。今日、高校卒業という節目を迎えるまで、様々な困難があったことでしょう。それは一人一人違うものの、何もなかった人はいないはずで、皆さんは乗り越え、今日を迎えている。このことに自信を持ってほしいと思います。

そして、二つ目は今まで、陰日向で皆さんを支えてきてくださった人に感謝してほしいということです。家族、友人、学校の先生、地域の方々など、様々な人のあなた方を思う気持ちと支援があって、今日を迎えていることを再認識し、感謝の気持ちを改めて持ってほしいと思います。

そして、もう一つは、これから先、前向きに生きていってほしいということです。18歳以上に選挙権が与えられるなど、高校卒業という節目は、何かの完成の時期で大人になる時だとよく言われます。しかし、人生を一つの絵に例えるならば、まだまだ人生というキャンバスには余白の方がはるかに多い。これから、いろいろな夢を抱き、それに向かって前向きに努力してほしいと思います。そして、皆さん一人一人のキャンバスに自分の夢を思い切り描いていってほしいと思います。

最後になりましたが、本日は県議会議員 藤墳 守様をはじめ、多くのご来賓の方々、多数の保護者の皆様に参加していただき、感謝しております。

保護者の皆様、本日は本当におめでとうございます。高校卒業というこの節目の喜び、安堵、そして、一抹の寂しさをお察しします。今日までのPTA活動をはじめとした諸行事へのご協力とともに、本校の教育に対してご理解いただき、今日まであらゆる面でご協力いただいたことに感謝申し上げます。卒業生の皆さんは、家族に感謝するとともに、ぜひ、これからは家族をより幸せにし、家族を笑顔にしてほしいと思います。そして、自分自身も幸せになってください。

平成28年3月1日

岐阜県立不破高等学校  
校長 堀 貴 雄